



Title	現代語版ルター聖書/現代語版チューリヒ聖書におけるgehen/kommen : マタイによる福音書を対象に
Author(s)	渡辺, 伸治
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2022, 2021, p. 49-58
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/88374">https://doi.org/10.18910/88374</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 現代語版ルター聖書/現代語版チューリヒ聖書における gehen/kommen —マタイによる福音書を対象に—

渡辺伸治

## 1. はじめに

本稿は、現代語版ルター聖書（以下 L と略記）と現代語版チューリヒ聖書（以下 Z と略記）のマタイによる福音書を対象に、その中でドイツ語移動動詞 gehen/kommen がどのように用いられているか、その様相を比較対照的に考察するものである。

本稿で考察対象とする gehen/kommen は、単一動詞 gehen/kommen と gehen/kommen を基礎動詞とする分離動詞である<sup>1</sup>。非分離動詞は対象としない。さらに以下の gehen/kommen は除外する<sup>2</sup>。

gehen :

- 1) 次の分離動詞 : angehen, aufgehen, dahingehen, verlorengelassen, umgehen, niedergehen, untergehen
- 2) 次の熟語, 機能動詞 : in Erfüllung gehen, zu Ende gehen
- 3) 「物事が進む」という意味の単一動詞の gehen

kommen :

- 1) 次の分離動詞 : umkommen, übereinkommen, zugutekommen, zusammen- kommen, zuvorkommen
- 2) 次の熟語, 機能動詞 : zur Welt kommen, in den Sinn kommen, zu Ende kommen, zu Fall kommen, zum Vorschein kommen, in Not kommen, ins Wanken kommen, in Versuchung kommen, in Ohren kommen, zu Verfolgung kommen,
- 3) 時を表す単一動詞の kommen
- 4) 名詞の Kommen
- 5) 「失う」という意味の um~ kommen

本稿でのデータはオンラインで聖書を読むことができるサイト ERF Bibleserver を用いて収集したものである。このサイトでは独訳聖書は 12 の聖書を読むことができるが、聖書を選択しキーワードを入力、検索すると、当該のキーワードが含まれている節を見ることができる。その際、複数の聖書を選択した場合には、キーワードが含まれていない聖書であっても当該の節を並行して見ることができる。そのため、キーワードの語彙以外どのような語彙が用いられているか容易に確認することができる。例えば、以下の画像は ging で検索した場合の例であるが、第一の例では L, Z ともに単一動詞の ging が用いられている。一方、第二の例では L では単一動詞の ging が用いられているが、Z では verliess が用いられていることがわかる。

Lutherbibel 2017	Zürcher Bibel
Mt 9,7 Und er stand auf und <b>ging</b> heim.	Mt 9,7 Und der stand auf und <b>ging</b> nach Hause.

<sup>1</sup> 以下「単一動詞の」という限定が付かない「gehen/kommen」は単一動詞の gehen/kommen の他に基礎動詞が gehen/kommen の分離動詞も含むものとする。

<sup>2</sup> 基本的には本稿が対象とする gehen/kommen は具体的移動を表すことになる。

Lutherbibel 2017	Zürcher Bibel
Mt 13,1 An demselben Tage <b>ging</b> Jesus aus dem Hause und setzte sich an das Meer.	Mt 13,1 An jenem Tag verliess Jesus das Haus und setzte sich an den See.

本稿では以上概略した ERF Bibleserver を用いて次の要領でデータベースを作成した。まず、選択した L, Z のマタイによる福音書を対象に geh, ging, gegangen, komm, kam, käm をキーワードとして部分一致で検索し、ヒットした節を Excel 2019 上にコピーした。そこから gehabt 等 gehen/kommen とは無関係の語彙ならびに上記の gehen/kommen を削除しデータベースとした。

なお、ERF Bibleserver の L は 2017 年版、Z は 2007 年版をオンライン化したものであり、本稿のデータの収集、考察はこの限りでの収集、考察である。L, Z はともに初版は 16 世紀に遡ることができる聖書であり、現在に至るまでいくつかの版が存在する。L, Z において gehen/kommen の使用が歴史的にどのように変化してきたかの考察は興味深いテーマであるが、歴史的な考察は別稿でおこなうものとして本稿では考察しないものとする。

さて、本稿は L と Z の比較対照をおこなうものだが、比較対照の切り口としては様々なものがありうる。以下 2 章で gehen/kommen の出現数を見たあと、3 章では出現頻度が高い単一動詞の gehen と hingehen の違いを、L と Z の違いと関連させながら考察する。4 章では同一箇所において L, Z の gehen/kommen の使用がどのように異なるかという観点から、まず一方の聖書が gehen、他方の聖書が kommen の例を見る。続けて一方の聖書が gehen/kommen、他方の聖書が gehen/kommen 以外の例の中から、Z が kommen の場合に L で出現する頻度が相対的に高い treten の例を見る。最後に L が gehen の場合に Z で出現する頻度が相対的に高い ziehen と sich machen の例を見る。

## 2. gehen/kommen の出現数

本章では L, Z で用いられている gehen/kommen の出現数を分離前綴りのタイプとともに確認する。gehen/kommen を単一動詞と分離動詞に区別して出現数をカウントすると、主なものは以下の表のようになる<sup>3</sup>。

	総数	単一									
	gehen	gehen	hin	hinaus	hinein	weg	aus	weiter	ein	fort	davon
L	173	49	43	20	15	6	6	6	3	4	7
Z	148	71	11	12	12	11	5	4	5	3	
同	127	31	9	10	7	3	5	3	3		
	kommen	kommen	her	heraus	hinein	herab	zu	zurück	herein	herbei	hervor
L	156	138	5	3	1	2	1		1	2	
Z	153	134	3	3	3	1	2	3	1		2
同	128	107	2	3					1		

表 1 gehen/kommen の出現数

表の一番左の列の「同」は当該の動詞が L と Z の同じ箇所でも出現する数である。例えば、

<sup>3</sup> gehen の分離動詞には表以外にさらに L では vorüber が 4 例、heim が 2 例、entlang, herab, heraus, her, hinab, hinzu, umher, voran が 1 例ある。Z では voraus, vorüber, zu が 3 例、entlang, heim, her, hervor, mit が 1 例ある。kommen の分離動詞にはさらに L では heim, heran, herauf が 1 例ある。Z では entgegen が 1 例ある。

hingehen は L では 43 例あり Z では 11 例あるが、これは他方の聖書とは独立にカウントした数である。一方「同」は 9 例あるが、これは L と Z の同じ箇所では **hingehen** が用いられている例が 9 例あるということである。例えば次のような場合であり、このような場合がさらに 8 例あるということである。

- (1) a. Mt 13,46 und da er eine kostbare Perle fand, ging er hin und verkaufte alles, was er hatte, und kaufte sie.<sup>4</sup>  
 b. Mt 13,46 Als er aber eine besonders kostbare Perle fand, ging er hin, verkaufte alles, was er hatte, und kaufte sie.

逆に言うと、L で **hingehen** が用いられている 34 (=43-9) 箇所、Z で **hingehen** が用いられている 2 (=11-9) 箇所は **hingehen** 以外の語彙が用いられているということになる。

次の列の「総数」は単一動詞の **gehen/kommen** と **gehen/kommen** を基礎動詞とする分離動詞の合計数である。その右の「単一」は単一動詞の **gehen/kommen** の数である。さらにその右は当該の分離動詞の分離前綴りとその数である。総数に関しては L の **gehen** が Z の **gehen** よりも若干多いほかは聖書間では大きな差は見られないといえよう。一方、総数に対する単一動詞の割合は **kommen** のほうが **gehen** よりも著しく高くなっている<sup>5</sup>。

### 3. 単一動詞の **gehen/hingehen**

前章では **gehen/kommen** の出現数を見たが、表 1 を細かく見ると単一動詞の **gehen** と **hingehen** の出現数は、L と Z とでは大きな違いが見られる。本章ではこの問題をいくつかの観点から考察する。

#### 3.1. 単一動詞の **gehen/hingehen** の相似性、互換性

表 1 によると、単一動詞 **gehen** は L が 49 例、Z が 71 例であり、Z のほうが多い。一方、**hingehen** は L が 43 例、Z が 11 例で L のほうが多い。これは、お互いに補完し合っているためと考えられる。すなわち、**hingehen** の **hin** は基本的には方向性を付加するだけの機能を持つため、**hingehen** は単一動詞の **gehen** と相似性、互換性が強く、お互いに補完し合っているということである。これは、L で **hingehen** を用いられている 43 例は Z では次の語彙が用いられているが、22 例で単一動詞の **gehen** が用いられていることにも反映している。

	hin- gehen	単一動詞 gehen	sich (auf)- machen	weg- gehen	voraus- gehen	heim- gehen	eilen	unterwegs sein
Z	9	22	4	3	2	1	1	1

表 2 L が **hingehen** の箇所での Z での語彙タイプと出現数

ただし、単一動詞の **gehen** は歩行に焦点がある用法 (用法 1)、出発を表す用法 (用法 2)、到着点が明示化され到着点への移動を表す用法 (用法 3) の 3 つ<sup>6</sup>があるが、**hingehen** と相似性、互換性が強いのは用法 3 のみである。以下、より正確を期すために 22 例の単一動詞の **gehen** が用法 3 の **gehen** になっているかを確認しておこう。

<sup>4</sup> 以下、例文の Mt はマタイによる福音書を表し、数字は章、節を表す。例文の a は L、b は Z である。

<sup>5</sup> これは **gehen** に関しては **hingehen** の頻度が高く、**kommen** に関してはあとで簡単に見るようにギリシャ語原文の影響があるためと考えられる。

<sup>6</sup> 詳しくは渡辺 (2017)、Watanabe (2012) を参照されたい。

まず、22例のうち到着点が明示化されている例は7例のみである。用法3は7例ということになり、この数だけを見ると *hingehen* と用法3の *gehen* の互換性はあまりないように見える。しかし、これは、定義上用法3の *gehen* は到着点が明示されていることが条件になっているからである。すなわち、Zでは到着点が明示化されていない場合であっても、移動が到着点を指向した移動であると考えられる例が多く見られるのである。具体的に見ていこう。

到着点は明示化されていないが、移動が到着点を指向した移動であるということをできるだけ形式的に判断できるように、以下のb(=Zの例)の2例のように到着点は明示化されていないが、単一動詞の *gehen* の直後に到着点でおこなわれる行為の記述 (*weise, taten*) がある用法を用法3'とすると、

- (2) a. Mt 18,15 Sündigt aber dein Bruder, so geh hin und weise ihn zurecht zwischen dir und ihm allein. Hört er auf dich, so hast du deinen Bruder gewonnen.  
 b. Mt 18,15 Wenn dein Bruder an dir schuldig wird, dann geh und weise ihn unter vier Augen zurecht. Hört er auf dich, so hast du deinen Bruder gewonnen.
- (3) a. Mt 21,6 Die Jünger gingen hin und taten, wie ihnen Jesus befohlen hatte,  
 b. Mt 21,6 Die Jünger gingen und taten, was Jesus ihnen befohlen hatte,

Zではこのような例が計13例ある。これに本来の用法3の7例を加えるとZでは広義の用法3(用法3+用法3')は20例あることになり、単一動詞の *gehen* 22例のうち20例が広義の用法3ということになる。単一動詞の *gehen* の用法3のみを考慮するだけでは見られなかった *hingehen* との互換性が、広義の用法3に範囲を広げることにより確認できるのである。

### 3.2. 単一動詞の *gehen* の用法3/用法3'

上ではZの単一動詞の *gehen* の用法3'の出現数をLが *hingehen* の場合に限定して考察したが、以下では単一動詞の *gehen* 全体を対象に用法3と用法3'の違いがLとZの違いとどう関連するか見ておこう。関係する要素の出現数は以下のとおりである。

	用法3	用法3'	計
Z: 単一動詞の <i>gehen</i> (Lが <i>hingehen</i> の場合のみ)	7 (35%)	13 (65%)	20 (100%)
L: 単一動詞の <i>gehen</i>	23 (96%)	1 (4%)	24 (100%)
Z: 単一動詞の <i>gehen</i>	29 (63%)	17 (37%)	46 (100%)

表3 単一動詞の *gehen* の用法3と用法3'の違いによる出現数

最初の行は3.1で挙げた数値であり表の最終行の「Z: 単一動詞の *gehen*」に含まれるが、この表からわかることは、Lでは用法3'の例がほとんど見られず(1例のみ)、Zでは単一動詞の *gehen* 全体を対象とした場合でも用法3'が比較的多くみられることである。前節での議論と合わせて一言で言えば、到着点への移動を表す場合には、ZのほうがLよりも *hin* を省略する傾向があり、到着点を明示化しない傾向があるということになる。

なお、Zでは、用法3と用法3'の総計に対する用法3'の数を比率で考えると、Lが *hingehen* の場合に限定した場合の比率は単一動詞の *gehen* 全体を対象として場合の比率よりも高い(65%対37%)。これは、Latzel (1979) が指摘する *hin* の代名詞的性質が要因になっていると考えられる。すなわち、*hin* 自体には指示性はないが、到着点が明示されていない場合であって

も文脈上到着点は既知である。従って、Lで *hingehen* が用いられる環境では到着点を明示化する必要性は弱まる<sup>7</sup>が、同じ環境で用いられている Zの単一用法の *gehen* 場合も到着点を明示する必要性が弱まることになり、結果として用法3'の比率が高くなるということである。

### 3.3. 単一動詞の *gehen/hingehen* と命令形

さて続けて、L, Zにおける広義の用法3の *gehen* と *hingehen* を命令形の観点から比較対照する。関係する語彙、形態の出現数は以下のものである。

	命令形	非命令形	計
L: <i>hingehen</i>	18 (42%)	25 (58%)	43 (100%)
L: 広義の用法3の単一動詞 <i>gehen</i>	4 (17%)	20 (83%)	24 (100%)
Z: <i>hingehen</i>	2 (18%)	9 (82%)	11 (100%)
Z: 広義の用法3の単一動詞 <i>gehen</i>	20 (43%)	26 (57%)	46 (100%)

表4 広義の用法3の *gehen/hingehen* の命令形/非命令形の出現数

特にZの *hingehen* は絶対数が少ないため客観性の問題は残るが、上の表にもとづく限りでは、Lは *hingehen* のほうが単一動詞の *gehen* よりも命令形で用いられやすく、Zは広義の用法3の *gehen* のほうが *hingehen* よりも命令形で用いられやすいということになる。

なお、Lの *hingehen*、Zの広義の用法3の単一動詞 *gehen* に関しては、以下の出現数が示すように、いずれも命令形のほうが非命令形よりも到着点が明示化されやすいという傾向もみられる。命令では到着点がどこかが特に重要な意味を持つからであろう。

	命令形	非命令形	計
L: <i>hingehen</i> 到着点表示	6 (67%)	3 (33%)	9 (100%)
L: <i>hingehen</i> 到着点非表示	12 (35%)	22 (65%)	34 (100%)
Z: 広義の用法3の単一動詞 <i>gehen</i> 到着点表示	9 (53%)	8 (47%)	17 (100%)
Z: 広義の用法3の単一動詞 <i>gehen</i> 到着点非表示	11 (38%)	18 (62%)	29 (100%)

表5 (非) 命令形と到着点 (非) 表示に関する出現数

### 3.4. *hingehen* と出発を表す語彙との関係

本章の最後に3.1で挙げた表2を別の観点から考察しておこう。すなわち、表2を見ると、Lで *hingehen* が用いられている箇所は、Zでは7例で出発することを表す語彙 (*weggehen* 3例, *sich (auf)machen* 4例) が用いられているという問題である。

これらの例では、同一事態がLでは到着点への移動として表され、Zでは出発として表されていることになり、移動のプロセスにおいてどの部分が焦点化されているかが異なっている。例えば、Lが *hingehen* でZが *weggehen*, *sich aufmachen* の次の例である。

- (4) a. Mt 26,44 Und er ließ sie und ging wieder hin und betete zum dritten Mal und redete abermals dieselben Worte.  
 b. Mt 26,44 Und er verließ sie, ging wieder weg und betete zum dritten Mal, wieder mit denselben Worten.
- (5) a. Mt 18,12 Was meint ihr? Wenn ein Mensch hundert Schafe hätte und eins unter ihnen sich verirrt: lässt er nicht die neunundneunzig auf den Bergen,

<sup>7</sup> *hingehen* に関しては、Lの43例では9例(21%)のみで到着点が明示化され、34例(79%)では到着点が明示化されていない。Zの11例では到着点が明示化されている例はない。

geht hin und sucht das verirrte?

- b. Mt 18,12 Was meint ihr? Wenn einer hundert Schafe hat, und es verirrt sich eines von ihnen, wird er nicht die neunundneunzig auf den Bergen zurücklassen und sich aufmachen, das verirrte zu suchen?

上で(広義の)用法3の単一動詞の gehen と hingehen の相似性, 互換性について見たが, hingehen と出発を表す語彙にもある程度の互換性が見られことになる。もっとも相似性に関しては hingehen と出発を表す語彙とでは移動のどの部分を焦点化しているかが異なり, 相似性は弱くなっているといえよう。

#### 4. L と Z の同一の箇所に出現する gehen/kommen とその他の語彙

##### 4.1. 一方の聖書が gehen, 他方の聖書が kommen の場合

2章でみたように gehen は同一箇所でも L, Z とともに gehen が用いられている箇所は 127 例ある<sup>8</sup>。一方, kommen は同一箇所でも L, Z とともに kommen が用いられている箇所は 128 例ある。gehen/kommen 合わせると, L, Z は 250 箇所でも同一の gehen/kommen が用いられていることになる。これに対し, 同一箇所において一方の聖書が gehen, 他方の聖書が kommen の例は 15 例のみである。内訳は L が kommen, Z が gehen が 10 例, L が gehen, Z が kommen が 5 例である。同一の gehen/kommen が用いられている 250 箇所と比較すると, 15 例は数少ないが, このタイプは視点<sup>9</sup>の取り方が逆になっている点で特異な例である。以下, まず L が kommen, Z が gehen の 10 例のうち 4 例を挙げる。

- (6) a. Mt 9,28 Als er aber ins Haus kam, traten die Blinden zu ihm. Und Jesus sprach zu ihnen: Glaubt ihr, dass ich das tun kann? Da sprachen sie zu ihm: Ja, Herr.  
b. Mt 9,28 Als er ins Haus hineinging, traten die Blinden auf ihn zu, und Jesus sagt zu ihnen: Glaubt ihr, dass ich dies tun kann? Sie sagen zu ihm: Ja, Herr.
- (7) a. Mt 13,36 Da ließ Jesus das Volk gehen und kam heim. Und seine Jünger traten zu ihm und sprachen: Deute uns das Gleichnis vom Unkraut auf dem Acker.  
b. Mt 13,36 Dann liess er die Leute gehen und ging ins Haus. Und seine Jünger traten zu ihm und sagten: Erkläre uns das Gleichnis vom Unkraut im Acker!
- (8) a. Mt 14,29 Und er sprach: Komm her! Und Petrus stieg aus dem Boot und ging auf dem Wasser und kam auf Jesus zu.  
b. Mt 14,29 Er sprach: Komm! Da stieg Petrus aus dem Boot, und er konnte auf dem Wasser gehen und ging auf Jesus zu.
- (9) a. Mt 14,34 Und sie fuhren hinüber und kamen ans Land, nach Genezareth.  
b. Mt 14,34 Und sie fuhren über den See und gingen in Gennesaret an Land.

続けて L が gehen, Z が kommen の例を 2 例挙げる。

<sup>8</sup> 単一動詞か分離動詞かの違いは区別せず, 一方が単一動詞の gehen, 他方が hingehen のような分離動詞の場合も含めていることに注意されたい。 kommen も同様である。

<sup>9</sup> 視点の問題に関しては本稿では考察しない。詳しくは渡辺 (2016) を参照されたい。

- (10) a. Mt 8,5 Als aber Jesus nach Kapernaum hineinging, trat ein Hauptmann zu ihm; der bat ihn  
 b. Mt 8,5 Als er aber nach Kafarnaum kam, trat ein Hauptmann an ihn heran und bat ihn:
- (11) a. Mt 10,11 Wenn ihr aber in eine Stadt oder ein Dorf geht, da erkundigt euch, ob jemand darin ist, der es wert ist; bei dem bleibt, bis ihr weiterzieht.  
 b. Mt 10,11 Kommt ihr aber in eine Stadt oder in ein Dorf, dann fragt nach, wer da würdig ist; dort bleibt, bis ihr weiterzieht.

以上、同一箇所でも一方の聖書が *gehen*、他方の聖書が *kommen* の例を見たが、L が *gehen*、Z が *kommen* の例は 5 例だが、Z が *gehen*、L が *kommen* の例は 10 例ある。これらの例のみにもとづく L のほうが到着点側の視点を取りやすいことになるが、例が少なく判断がむずかしい。聖書の他の部分も参照しデータ数を増やすことでこの問題はさらに考察していきたい。

また、本稿ではギリシャ語原文での原語の問題を考慮していないが、ここで本章の問題設定と関連する点に関し少しだけ触れることにする。

原文の影響を受けない翻訳はなく、L、Z でも原文の影響を受けている<sup>10</sup>と考えられるが、聖書関連サイトである Bible Hub のギリシャ語原文のインターリニア聖書を参照すると、L の単一動詞の *kommen* 138 例のギリシャ語原語は 100 例が ἐρχομαι であり、Z の単一動詞の *kommen* 134 例のギリシャ語原語は 87 例が ἐρχομαι である<sup>11</sup>。いずれにせよ単一動詞の *kommen* と ἐρχομαι の相関関係は強い<sup>12</sup>と考えられるが、この例のみにもとづく L のほうが Z よりも相関関係が若干強いということになる。また、L が *kommen* で Z が *gehen* の 10 例の原語は 9 例が ἐρχομαι であるが、Z が *kommen* で L が *gehen* の 5 例の原語はすべて ἐρχομαι ではない。この点でも相関関係の相違がみられるが、データが少ないという問題は残る。さらに、この問題は L、Z から原語の語彙を見るのではなく、ギリシャ語原文の ἐρχομαι が L、Z ではどのように訳されているのかという問題を考える必要もある。ここでは問題の指摘だけに留め、ギリシャ語原語との関係の考察はさらなる課題としたい。

#### 4.2. 一方の聖書が *gehen/kommen*、他方の聖書が *gehen/komme* 以外の場合

同一箇所において一方の聖書が *gehen/kommen*、他方の聖書が *gehen/komme* 以外の箇所数は以下の表のとおりである。このうち B、C の場合は *gehen/kommen* 以外の語彙が多岐にわたるので以下考察せず、比較的頻度が高い特定の語彙が見られる A、D の場合のみ考察する。

A	Lがgehen, Zがgehen/kommen以外	41
B	Lがkommen, Zがgehen/kommen以外	18
C	Zがgehen, Lがgehen/kommen以外	11
D	Zがkommen, Lがgehen/kommen以外	20

一方の聖書が *gehen/kommen*、他方の聖書が *gehen/komme* 以外の箇所数

<sup>10</sup> さらに言えば、L と Z がどのようにどの程度お互いに影響を受けているかという問題もある。

<sup>11</sup> Bible Hub のインターリニア聖書は原語に英語の訳語、ストロング番号などの情報が振られているが、それを参照しながら *gehen/kommen* の原語を確認しカウントした。

<sup>12</sup> 2 章で *kommen* は単一動詞の出現率が *gehen* よりも著しく高いことをみたが、これは単一動詞の *kommen* と相関関係が強い原語の ἐρχομαι の出現数の高さによると考えられる。

#### 4.2.1. Zがkommen, Lがtretenの場合

まず, Zがkommen, Lがgehen/kommen以外の箇所である。この箇所は20例あるが, 20例中15例でZのkommenがLではtreten<sup>13</sup>である。例えば以下の2例である。

- (12) a. Mt 15,12 Da traten die Jünger hinzu und sprachen zu ihm: Weißt du auch, dass die Pharisäer an dem Wort Anstoß nahmen, als sie es hörten?  
b. Mt 15,12 Da kommen seine Jünger zu ihm und sagen: Weisst du, dass die Pharisäer Anstoss genommen haben, als sie dieses Wort hörten?
- (13) a. Mt 22,23 An demselben Tage traten Sadduzäer zu ihm, die sagen, es gebe keine Auferstehung, und fragten ihn  
b. Mt 22,23 Am selben Tag kamen Sadduzäer zu ihm, die behaupten, es gebe keine Auferstehung, und sie fragten ihn:

Lがkommen, Zがtretenの箇所は1例のみであるから, Lではtretenが用いられやすいといえよう。

また, これら15例のギリシャ語原語はすべてπροσέρχονταιであるが, これは上で見た単一動詞のkommenと相関関係があると考えられるέρχονταιに接頭辞προσが付加された語彙である。ここでの例に限定する限りでは, Lはギリシャ語原語の違いにより訳語をkommenとtretenに使い分けているが, Zは使い分けていないことになる<sup>14</sup>。

#### 4.2.2. Lがgehen, Zがziehen/sich machenの場合

LがgehenでZがgehen/kommen以外の箇所は41例あるが, 41例の中でもっとも頻度が高い語彙は12例のziehen<sup>15</sup>である。例えば以下の2例である。

- (14) a. Mt 9,9 Und als Jesus von dort wegging, sah er einen Menschen am Zoll sitzen, der hieß Matthäus; und er sprach zu ihm: Folge mir! Und er stand auf und folgte ihm.  
b. Mt 9,9 Und als Jesus von dort weiterzog, sah er einen Mann, der Matthäus hiess, am Zoll sitzen. Und er sagt zu ihm: Folge mir! Und der stand auf und folgte ihm.
- (15) a. Mt 11,9 Oder was zu sehen seid ihr hinausgegangen? Einen Propheten? Ja, ich sage euch: Er ist mehr als ein Prophet.  
b. Mt 11,9 Oder was habt ihr zu sehen gehofft, als ihr hinauszogt? Einen Propheten? Ja, ich sage euch, mehr als einen Propheten habt ihr gesehen!

Lがziehen, Zがgehenの例は3例のみであるから, Zではziehenが用いられやすいといえよう。

また, Lがgehen, Zがgehen/kommen以外の箇所41例のうち, 7例でLのgehenがZで

<sup>13</sup> tretenの場合もtretenは基礎動詞がtretenの分離動詞も含むものとする。15例の内訳は単一動詞のtretenが11例, hinzutretenが2例, herzutreten, herantretenが1例である。

<sup>14</sup> ギリシャ語原文については上でも触れたが, この問題に関しても示唆に留め, さらなる考察は今後の課題としたい。

<sup>15</sup> ziehenの場合もziehenは基礎動詞がziehenの分離動詞も含むものとする。12例の内訳はhinausziehenが5例, weiterziehenが4例, ausziehen, herziehen, vorbeiziehenが1例である。

は sich (auf)machen である<sup>16</sup>。例えば以下の2例である。

- (16) a. Mt 13,25 Als aber die Leute schliefen, kam sein Feind und säte Unkraut zwischen den Weizen und ging davon.  
b. Mt 13,25 Doch während die Leute schliefen, kam sein Feind, säte Unkraut unter den Weizen und machte sich davon.
- (17) a. Mt 11,7 Als sie fortgingen, fing Jesus an, zu dem Volk über Johannes zu reden: Was zu sehen seid ihr hinausgegangen in die Wüste? Ein Schilfrohr, das vom Wind bewegt wird?  
b. Mt 11,7 Als diese sich wieder auf den Weg machten, begann Jesus zu den Leuten über Johannes zu reden: Was habt ihr zu sehen gehofft, als ihr in die Wüste hinauszogt? Ein Schilfrohr, das im Wind schwankt?

Lで sich (auf) machen で Zが gehen の例はないので, Zは sich (auf)machen が用いられやすいといえよう。

## 5. おわりに

本稿では現代語版ルター聖書, 現代語版チューリヒ聖書に現れる gehen/kommen を比較対照的に考察し, LとZにおけるいくつかの違いを見た。本稿で用いたL, Zはオンラインの現代語版訳であったが, 1章でも触れたようにそれぞれの聖書の gehen/kommen の使用が歴史的にどのように変化してきたかの考察は興味深い問題であり今後の課題としたい。

また, 本稿ではマタイの福音書のみを対象としたが, 例が少ない場合もあり今後は他の福音書等に対象を広げて考察する必要がある。さらに上でも触れたが本稿の問題設定からはギリシヤ語原文との比較対照も不可欠である。προερχομαι と ερχομαι の訳し方を見ると LとZとでは訳語の選択の仕方が異なるようにも見える。さまざまな問題が山積みの感はあるが, これらの問題の考察は今後の課題として本稿をひとまず終えることにしよう。

参考ウェブサイト

ERF Bibleserver: <https://www.bibleserver.com/>

Bible Hub: <https://biblehub.com/>

参考文献

角谷善朗 (2002): 「旧約の sene と新約の βατος のドイツ語訳について —Luther と Zwingli の例証に基いて」

『教養論叢』116. (慶應義塾大学法学研究会) pp. 1-32.

角谷善朗 (2016): 「ルカによる福音書 15章における三つの譬えについて: Luther 訳聖書と現代ドイツ語訳聖書

に基いて(1)」『教養論叢』137. (慶應義塾大学法学研究会) pp. 1-25.

角谷善朗 (2017): 「ルカによる福音書 15章における三つの譬えについて: Luther 訳聖書と現代ドイツ語訳聖書

に基いて(2)」『教養論叢』138. (慶應義塾大学法学研究会) pp. 1-26.

角谷善朗 (2018): 「ルカによる福音書 15章における三つの譬えについて: Luther 訳聖書と現代ドイツ語訳聖書

---

<sup>16</sup> このうち3例は, 3. 1で見たLが hingehen でZが sich aufmachen の3例である。

- に基いて(3)『教養論叢』139. (慶應義塾大学法学研究会) pp. 1-23.
- 角谷善朗 (2019): 「ルカによる福音書 15 章における三つの譬えについて: Luther 訳聖書と現代ドイツ語訳聖書に基いて(4)『教養論叢』140. (慶應義塾大学法学研究会) pp. 1-21.
- 金山正道 (2006): 「ドイツ共通語の成立 —中世からルターまで—」『福岡大学研究部論集』A.人文科学編 5/5. pp. 81-106.
- 河崎靖 (2007): 「ルターと初期新高ドイツ語」『ドイツ文學研究』52. pp. 85-104.
- 河崎靖 (2011): 『ドイツ語で読む『聖書』 —ルター, ボンヘッフアー等のドイツ語に学ぶ—』現代書館
- 塩谷饒 (1983): 『ルター聖書 抜粋・訳注』大学書林
- 塩谷饒 (1987): 『ルター聖書のドイツ語』クロノス
- 多田哲 (2019): 「ルターとドイツ語—ルター訳聖書のドイツ語とその新高ドイツ語成立への影響」『ルター研究』16. pp. 163-189.
- 辻学 (2019): 「ルター『九月聖書』の書誌学的考察 —第1刷の本文をめぐって—」日本新約学会編『青野太潮先生献呈論文集 イエスから初期キリスト教へ —新約思想とその展開』pp. 389-402.
- 吉田新 (2017): 「聖書翻訳の過去・現在・未来 ルター訳聖書 2017 年改訂版について」『東北学院大学キリスト教文化研究所紀要』35. pp. 43-49.
- 渡辺伸治 (2016): 「go/come のダイクシス用法と非ダイクシス用法 —具体的用法の場合—」『言語文化研究』42. pp. 219-239. 大阪大学言語文化研究科.
- 渡辺伸治 (2017): 「ヨーロッパ言語の中の英語 —ドイツ語の視点から—」今尾康裕他 (編)『英語教育徹底リフレッシュ』pp. 242-248. 開拓社
- Di Meola, C. (1994): „kommen“ und „gehen“. *Eine kognitiv-linguistische Untersuchung der Polysemie deiktischer Bewegungsverben*. LA 325. Tübingen: Niemeyer.
- Latzel, S. (1979): *Der Gebrauch von „hin“ und „her“ im heutigen Deutsch*. Goethe-Institut.
- Watanabe, S. (2002). Zur Deixis von *kommen*, *bringen* und *mitbringen*. In: *Zeitschrift für germanistische Linguistik* 30/3, 342-355.
- Watanabe, S. (2012). Zur Deixis von *gehen*. In: F. Gruzca, et al. (Eds.) *Akten des XII. internationalen Germanistenkongresses Warschau 2010*, Vol. 15. pp.203-208. Frankfurt a. M: Peter Lang.